

第537回 放送番組審議会

1. 日 時 2018年1月16日(火) 午後1時30分～
2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室
3. 委員総数 9名

出席委員 6名

副委員長	三浦 茂樹
委員	恒川 かおり
委員	佐藤 俊彰
委員	大内 敦
委員	佐藤 健志
委員	加藤 千晶

欠席委員 3名

委員長	五日市 知香
委員	照井 勝也
委員	大橋 綾子

社側出席者 檜崎 憲二(代表取締役会長)
榎野 信治(代表取締役社長)
山口 英二(専務取締役)
青山 尚之(常務取締役 兼 編成局長)
池田 学(営業局長)
柴柳 二郎(報道制作局長)

事務局 遠藤 隆 (編成局放送番組審議会事務局長)
平山 亜希子 (編成局編成部副部長)

4. 議 題

1.12/29(金) 13:55～14:50

とびだせ! IWATE～岩手発アジアビジネス最前線～

2. その他

5. 資 料（資料として以下のものを配布）

- ・ 視聴者からのご意見

6. 意 見

委 員 側 意 見

○海外を広く取材された力作だなと感じたし、おもしろい番組だった。

○収録場所はどこだったのかがちょっと気になった。たまに人が後ろを通過して、話の流れ的に後ろの人は全く関係ないが、気になった。

○放送の時期が年末という事で、たくさんの方の目に触れる機会があったと思うので非常にタイムリーな話題で良かった。番組の冒頭に、紹介する内容4つを先に紹介したので番組を見る導入として興味を持たせる効果もあった。

○4つの海外ビジネスの事例としてそれぞれその国、地域でなぜ需要あるのかという事も説明されビジネスとして企業家の方が展開していく背景や展望が実際に出演されて直の声、が聞けたので、意図が伝わりやすかった。

○おもしろかったし、勉強になり、何より元気が出るというのが非常に良かった。岩手県は震災復興の予算が完了した後に、県の経済をどういうふうにつなげていくのかという問題がある中で、大きなヒント、あるいはエネルギーがもらえる番組だったのではないかな。

○アジアの購買力が高まって、安全安心で高品質な日本の農産物、海産物は、需要があるだろうと思っているし、よく言われている。岩手で具体的にどうすればいいのかという実例を豊富に紹介したのが価値が高かった。

○新しい事、壁の高い事にあえて挑戦するバイタリティ、行動があり大変印象深い番組だった。それぞれ出演者4人のバックグラウンドがもう少し分かると面白かった。

○香港でホタテ料理は最終的に一人いくらなのかが分かると輸出されたものにどれだけの付加価値がのっているのかわかればよりおもしろかったかなと感じた。またミャンマーの日本市に出た蔵元が岩手からは南部美人さんだけだったが、その背景も知りたかった。

局 側 意 見

○収録にあたっては4人のスケジュール調整が大変でスケジュールありきで、弊社のスタジオが使えず収録にふさわしい場所として探したところ県立美術館が背景としてよかったので収録に協力してもらった。

○あの大きなサイズの生のホタテは香港に卸す段階で1枚2000円くらいに跳ね上がり超一流のお店で調理されると、1枚まるまる使うと5000円はくだらないという値段になる。逆に高級食材を求める中国料理店にしてみれば喉から手が出るほど欲しい食材とのことだった。

○4人のバックグラウンドの紹介は海外での取材編の後、収録でのトーク編というのを合わせると番組の尺の制約があり厳しかった。

○このような経済番組、同じ視点を持った別番組になるかもしれないが、テレビ岩手として長期的に取り組んでいきたい。

1月番組審議会のテレビ放送

1月23日（火）11:45-11:52「あなたと歩むテレビ岩手」